

SUZUKI DR-Z4S/4SM Slip-On RS-12サイクロン

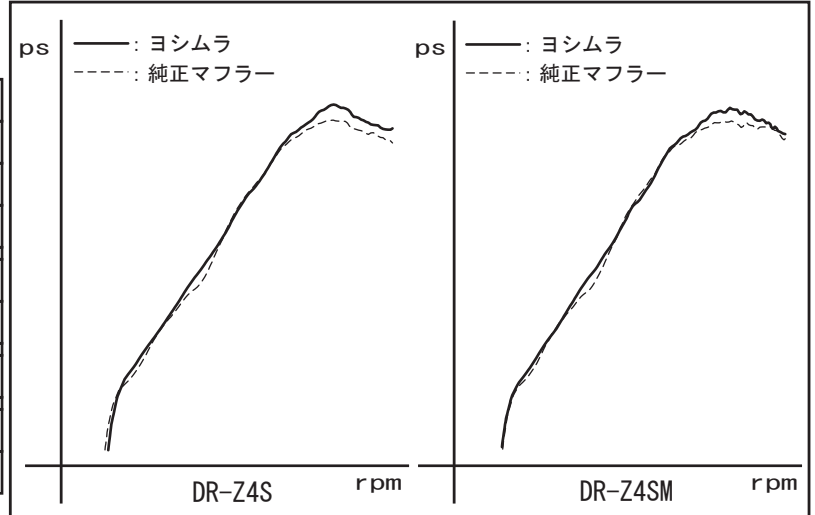
取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業は適切な資格、知識を有する人が行って下さい。
- 車両を取り扱う際は、適切な服装にて行って下さい。
- 作業中はグローブ等を着用し、製品のエッジ部に注意して行って下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- ▲注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- 参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

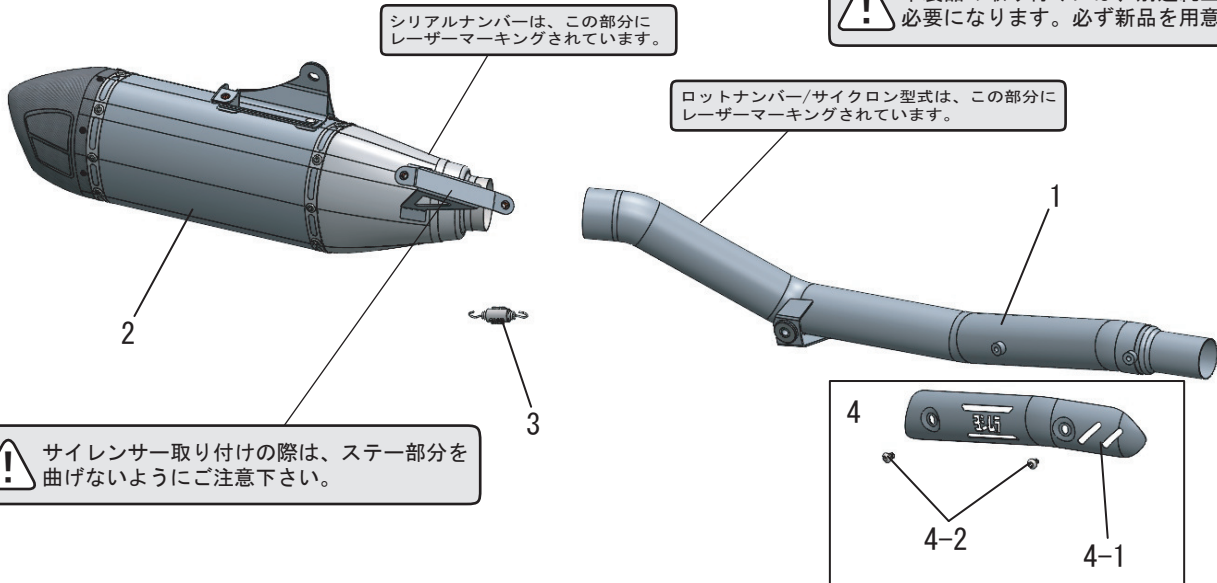
車名	SUZUKI DR-Z4S/4SM
車両型式	8BL-ER1AH
エンジン型式	GKA1
認証番号	JMCA1026001272
サイクロン型式	S12ESOVCI
素材	SUS304
品番	ステンレスサイレンサー : 110-12E-5P30
重量	純正マフラー : 6.2 kg
	ステンレスサイレンサー : 4.6 kg



2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
無	可能	可能	無	純正品を使用	無	可能

! 本製品の取り付けには、別途純正ガスケットが必要になります。必ず新品を用意して下さい。



! サイレンサー取り付けの際は、ステー部分を曲げないようにご注意下さい。

NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	テールパイプ	1	115-12E-5P00	4	ヒートガードセット	-	194-12E-0010
2	サイレンサー	1	139-12E-5P30	4-1	ヒートガード	1	—
3	マフラスプリング(シグナリング)	1	118-001-2000	4-2	フランジボルト黒M6×8(締め付け)	2	—
※	スプリング取付工具	1	100-000-0000				

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. セット内容を確認して下さい。
2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照して、フレーム等を損傷しないように注意しながらフレームカバー（ゼッケン）、マフラーカバー、純正サイレンサーを車両から取り外して下さい。（F I G. 1 参照）



F I G. 1

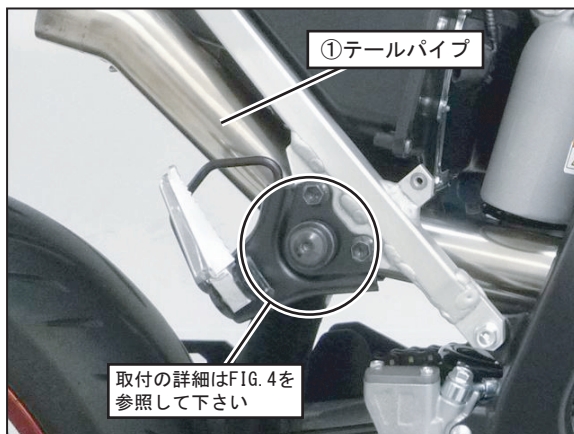
3. ガasketを新品の純正ガasketに交換して純正エキゾーストパイプに取り付けて下さい。
次に、①テールパイプを純正エキゾーストパイプに取り付け、純正クランプバンドを仮締めして下さい。（F I G. 2 参照）

△注意 必ずメーカー純正のガasketを使用して下さい。

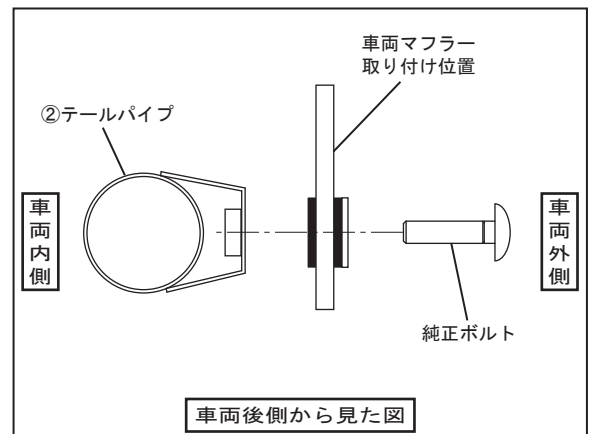
4. ①テールパイプのステーの穴を車両フレームのマフラー取り付け位置に合せ、純正ボルトを使用して仮締めして下さい。（F I G. 3, 4 参照）



F I G. 2



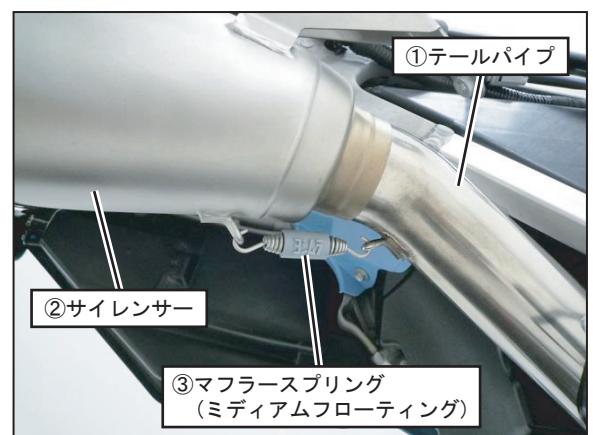
F I G. 3



F I G. 4

5. ②サイレンサーを①テールパイプに取り付け、③マフラスプリング（ミディアムフローティング）をスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。（F I G. 5 参照）

△危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。（怪我をする恐れがあります）



F I G. 5

6. 純正ボルト、ワッシャ、ナットを使用して②サイレンサーを車両に仮締めして下さい。
(FIG. 6, 7 参照)

△注意 サイレンサーを車両に取り付ける際は、前側のステー部分を曲げないように注意して下さい。



FIG. 6

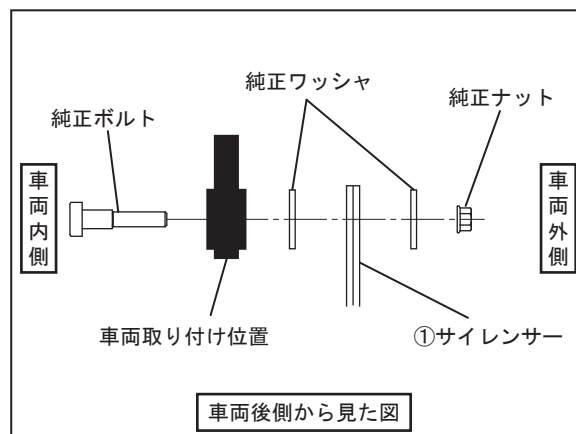


FIG. 7

7. 車両とマフラーとのクリアランスを確認し、仮締めしたボルト・ナットを純正クランプバンド→テールパイプ→サイレンサーの順に規定トルクで締め付けて下さい。
(FIG. 8 参照)

△注意	規定トルク	純正クランプバンド	: 20 Nm
		テールパイプ	: 23 Nm
		サイレンサー	: 23 Nm



FIG. 8

8. マフラーや車両を揺すってみてマフラーと車両各部とのクリアランスが十分に保たれていることを確認して下さい。クリアランスが確保できず干渉してしまう場合はマフラーのボルト・ナットを緩め、再度位置を調整して下さい。

△危険 位置調整を行ってもクリアランスが確保できない場合は取り付けを中止し、ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。
十分なクリアランスを確保していないまま使用すると、車両やマフラーの破損等の重大なトラブルに繋がる恐れがありますので決して使用しないで下さい。
上記を無視して使用した場合に発生した不具合（事故、車両や製品の破損等）は保証の対象外となります。

9. ①テールパイプに④-1ヒートガードを④-2フランジボタンボルト黒M6×8（ネジロック付き）を使用して取り付け、規定トルクで締め付けて下さい。（FIG. 9 参照）

△注意	規定トルク	ボタンボルトM6×8	: 10 Nm
------------	-------	------------	---------

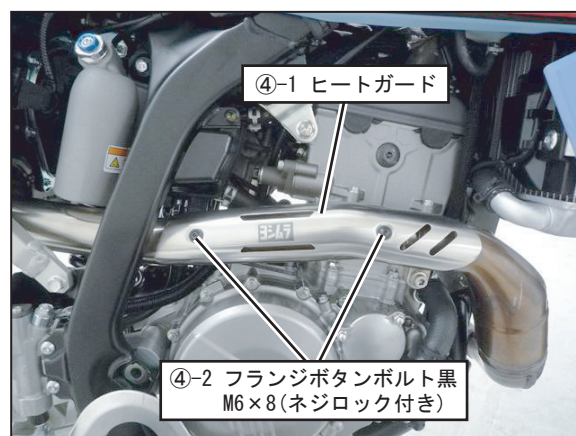


FIG. 9

10. 手順2で外したマフラーカバーを②サイレンサーに純正ボルトを使用して取り付け、規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 10参照)

△注意 規定トルク マフラーカバー : 10 Nm

11. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。

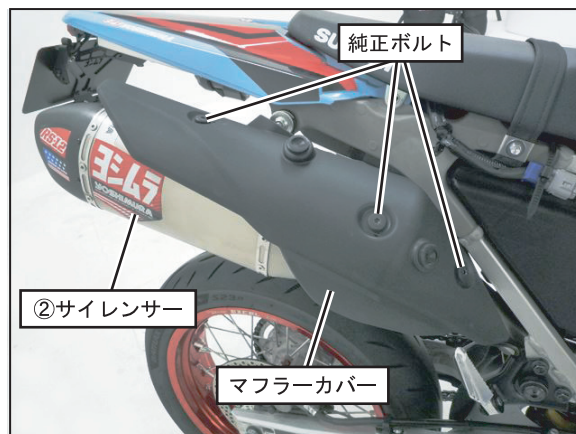


FIG. 10

12. エンジンを始動して排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。

△注意 ごく稀に、マフラー及び取付に異常が無くても、マフラー交換後にアイドリングが安定せずエンジンストールを起こすことがあります。この場合、車両制御の関係にて製品の異常ではありません。O2センサ、スロットル、インジェクタに異常が無い事を確認の上、ECM学習値のリセットが必要です。専用ツールを用いた作業が必要です。車両の販売店様にご相談下さい。

尚、簡易的には以下の手順で改善する事がありますが、正規のリセットでは無いため確実ではありません。お客様ご自身の判断でお試ください。

- ・バッテリーの端子を外し、10～15分後に再度組み付けて下さい。
- ・アクセルに一切触れずにキーONでエンジンを始動し、5分程度アイドリングさせます。5分経過後にキーOFFでエンジンを止め、キーOFF状態を1分以上維持して下さい。

13. 手順2で外したフレームカバー(ゼッケン)を元に戻して下さい。

14. 走行中アフターファイアが激しく鳴る場合や、排ガス浄化によってテールパイプとサイレンサーの嵌め合い部から水が垂れてくる場合は、テールパイプとサイレンサーの嵌め合い部に市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。



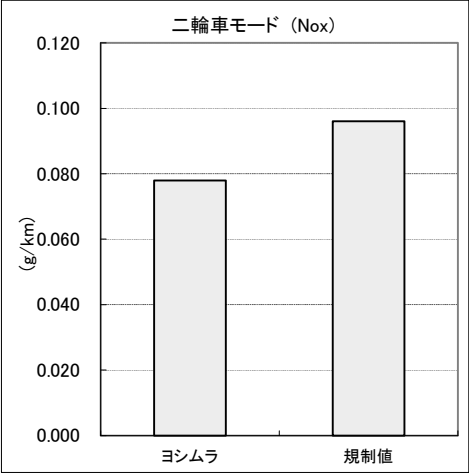
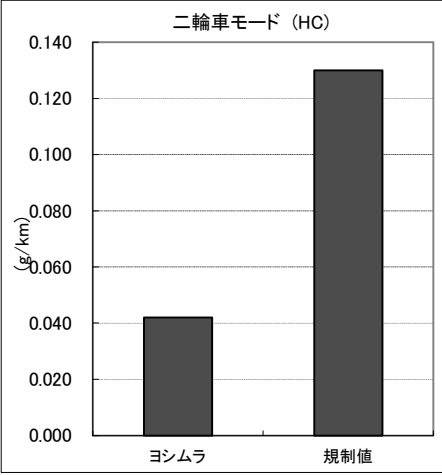
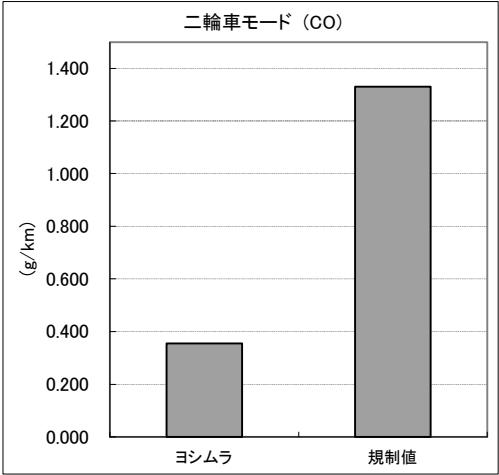
SUZUKI DR-Z4S/4SM Slip-On RS-12サイクロン

排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (DR-Z4S)

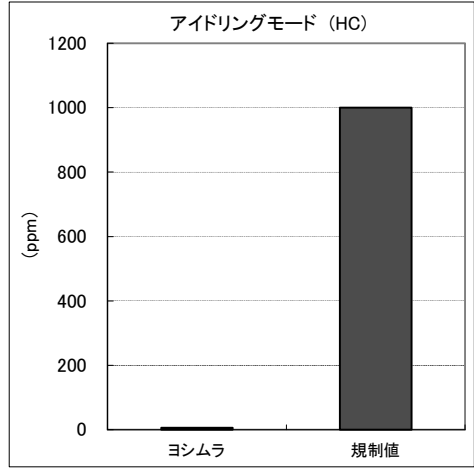
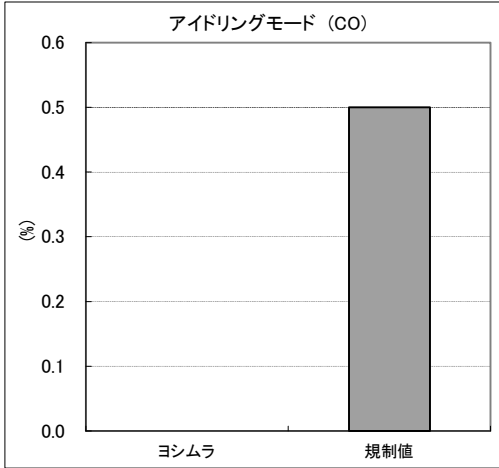
WMTcモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.355	1.33
炭化水素HC(g/km)	0.042	0.13
窒素酸化物Nox(g/km)	0.078	0.096
二酸化炭素CO2(g/km)	79.1	規制無



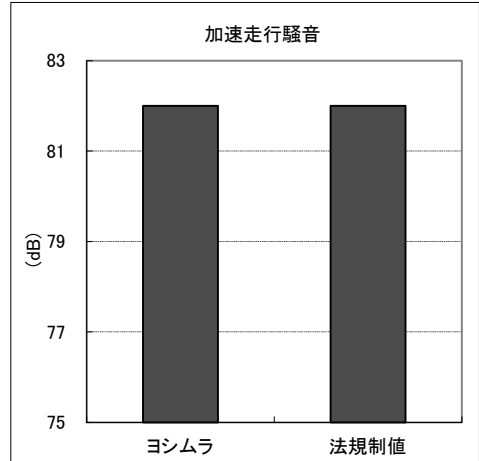
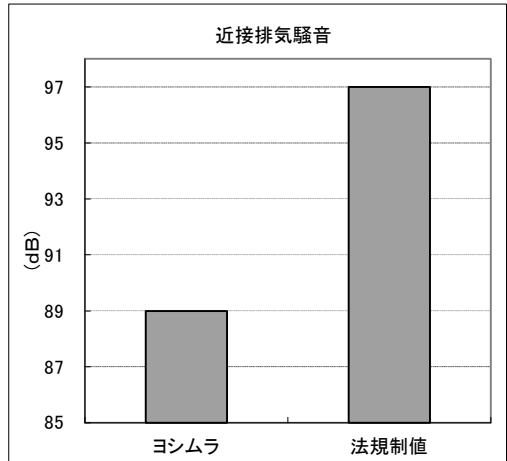
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	0.5
炭化水素HC(ppm)	6	1000



○騒音測定結果表 (DR-Z4S)

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	89	97
加速走行騒音(dB)	82	82

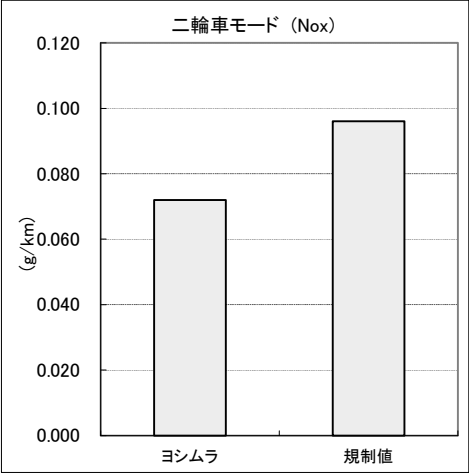
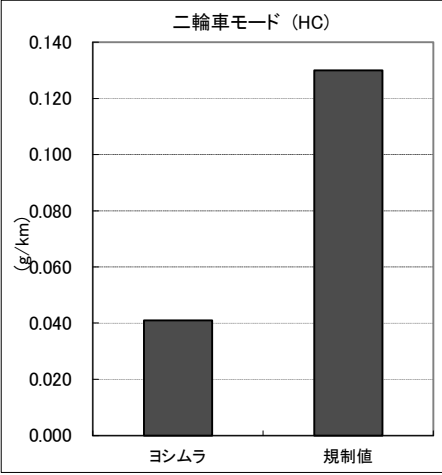
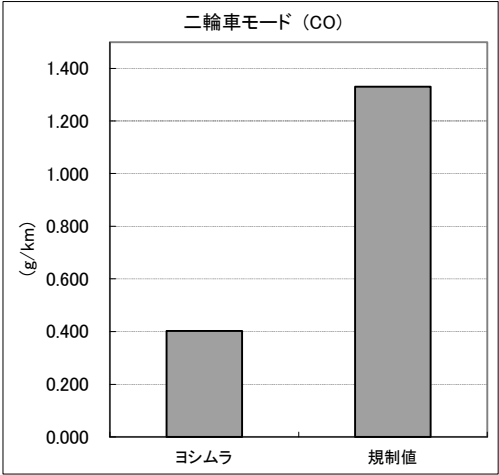


排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表 (DR-Z4SM)

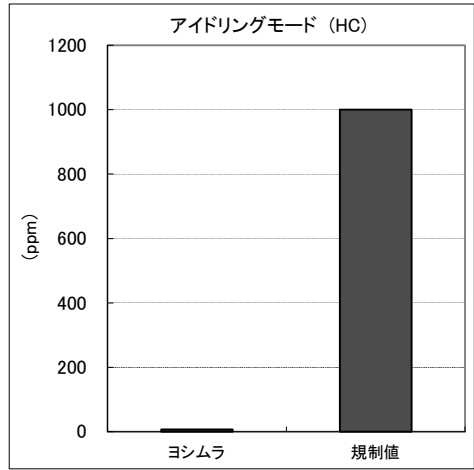
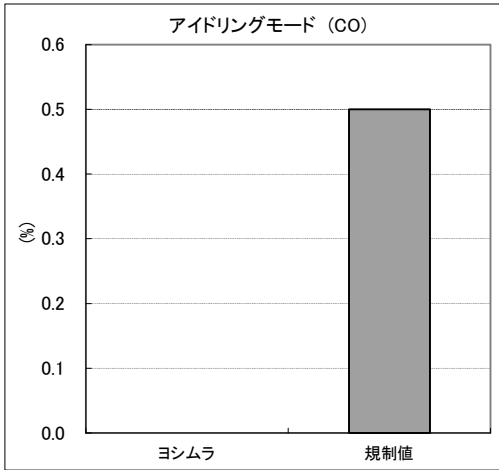
WMTcモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.402	1.33
炭化水素HC(g/km)	0.041	0.13
窒素酸化物Nox(g/km)	0.072	0.096
二酸化炭素CO2(g/km)	76.8	規制無



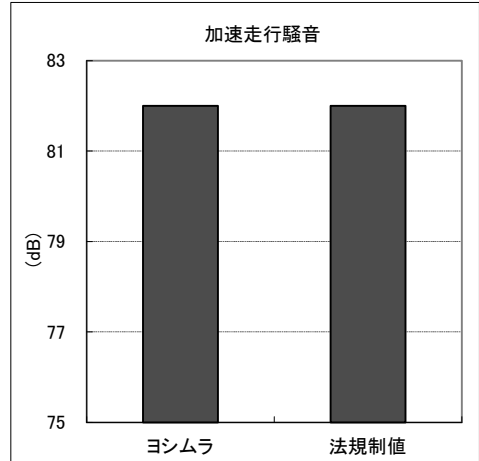
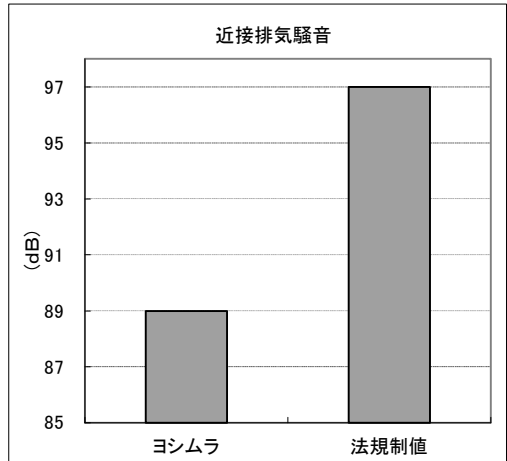
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	0.5
炭化水素HC(ppm)	7	1000



○騒音測定結果表 (DR-Z4SM)

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	89	97
加速走行騒音(dB)	82	82



⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

⚠危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。
※車両の取り扱いや商品の取り付けは適切な服装、装備にて行って下さい。怪我や火傷の原因になる恐れがあります。

⚠注意

※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガasket等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検(変形、キズ、車体との干渉等)を行って下さい。
※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

●2年保証について

※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。
※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。
※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧ください。
※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



オンライン保証登録のご案内: <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

●「政府認証マフラー」について

※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。
※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJMC A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラーリメイクのご案内

・マフラーリメイクのご案内 ▶



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

